

2015年度宇部市地球温暖化対策ネットワーク総会記録

日 時：2015年6月20日（土）13：30～16：30

会 場：宇部市総合福祉会館 ボランティア交流ホール(大)

出席者数：約60名

★本総会で使用する電力のすべて(250kwh)を、中国地方産の太陽光のグリーン電力でまかかった。

(UNCCAの2015年度購入分：500kwhより)

★自家用車での来場者にカーボン・オフセット募金への協力をお願いした。募金は宇部市へ

次 第：

第1部：総会（13：30～14：30）

総会

1. 代表あいさつ 溝田 忠人 代表
2. 来賓あいさつ 宇部市市民環境部長 石部 隆 氏
(宇部市長 久保田 后子 氏の予定であったが、用務の都合により代わりにご挨拶頂いた)
3. 議 事
第1号議案 2014年度事業報告・収支決算報告・監査報告について
第2号議案 2015年度事業計画（案）・収支予算（案）について
第3号議案 役員改選

議 事 録

議 長：宇部市地球温暖化対策ネットワーク代表 溝田 忠人

議 事：・議案は6月3日の幹事会にて了承済

・承認は第1～3号各議案の審議終了後、拍手を以て行う

第1号議案（報告事項）・・2014年度事業報告・収支決算報告・監査報告について

- ・事務局より2014年度事業報告・収支決算報告
- ・片岡監査より監査報告

第2号議案（審議事項）・・2015年度事業計画（案）・収支予算（案）について

- ・事務局より説明

第3号議案（報告事項）・・役員改選

- ・事務局より説明

第1号議案

質疑：なし

承認：拍手多数を以て承認を得た。

第2号議案

質疑：なし

承認：拍手多数を以て承認を得た。

第3号議案

質疑：なし

承認：拍手多数を以て承認を得た。

以上で、本年度の総会議案は事務局提案の通り承認された。

総会後に関根会員より発言があった。

意見】：現在、宇部市所有の溜池の水面にソーラーパネルを設置する事業が進められている。当該地域に住む者として、自治会内で議論が紛糾している。個人の意見として、小中学校の校舎や市の施設の屋上など、設置する場所がたくさんあるのに、溜池の水面利用をし生物多様性を損なう計画を立てるのはいかなものか。断固反対である。

宇部市】：そういったご意見があることを認識いたしました。

事務局】：会員間で温暖化をはじめいろいろな環境問題について議論をしていくことは非常に有意義である。

第2部：報告会 環境講演会（14：40～16：30）

1. 報告会

1) 建設業における環境への取組み

新光産業株式会社取締役営業技術部長 森重 吉朗 氏

2) センターの環境への取組み

山口県産業技術センター企業支援部副部長 友永 文昭 氏

2. 環境講演会

演題：「再生可能エネルギーをめぐる動き」

講師：山口県再エネアドバイザー 新谷 敦博 氏

中国電力株式会社山口支社 副支社長

<時間の都合により質疑応答の時間が取れなかったため、書面にてご質問頂くこととなった。

質問は事務局が講師に伝え、講師回答を直接質問者へ届けるか、HPに掲載する>

書面での質問・意見はそれぞれ1件ずつあった。

質問】：太陽光蓄電器は一般家庭用はどれくらいの価格？

⇒対応】省エネ相談として処理し、後日回答。

意見】：「関根さんの意見に関して、太陽光発電にしても、風力発電にしても、自然生態系や低周波音の影響など、簡単に進められにくい現状がある。荒地と思われる未利用地であっても、太陽光パネルを広い面積に設置し、雨水が短時間で水域に流出すれば、沿岸海域の生産力低下につながることも考えなければならない。現在大規模な施設でも環境影響評価は不要とされているが、少なくとも雨水排水を直接水路により行うのではなく、できるだけ地下水として浸透するような工夫が必要である。原子力発電は核のごみのツケを将来に残すので問題であるし、要は省エネに一番力を入れる、太陽光発電はまず屋根に置く、自動車利用を控えるなどが重要と思います。」

⇒対応】今後とも省エネ啓発に一番力を入れていく。

以上

※ 議事録は規約により事務局が作成・保管

2015年6月23日

文責) 事務局長 仰木 則康 印